

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年1月4日

事業所名 はこだて療育・自立支援センター つばみ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・親子クラスは大人が多くなるため活動エリアが狭くなりやすいので、人数によりエリアを広げたり、集い方を工夫しています。	
	② 職員の配置数は適切である	○			・令和6年4月からの法改正に伴い、人員配置基準等も変更になる予定がありますので、今後も適切な人員配置の中で、より良い支援につながるよう、体制を工夫しながら進めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・クラスの特性に応じた構造化を工夫をしたり、視覚支援等の配慮をしています。	・令和6年度は生活空間自体も変更予定がありますので、子どもたちの発達状況や特性を考慮し環境設定をしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・お子さんたちが安心して十分活動を楽しむことができるよう清潔な空間になるように配慮しつつ、地域で流行している感染症の対策にも留意しています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・課題については共通認識できるように資料を回覧したり、資料をきっかけにして検討するなど意見交換をしています。	・令和6年度は日課が変わることから、振り返りと評価をしながら職員全体で計画の見直しや改善に取り組んでいきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・意識していくべき保護者の意向については職員間で共有しております。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・アンケート結果を保護者に配布しているほか、函館市のホームページ上でも公開しています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・外部評価は行っていません。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	・施設内での研修に参加しているほか、外部主催研修も希望を募って参加しています。	・全員で受けることが可能なオンライン研修が増えてきたので、今後も積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		○	・様々な視点から必要な支援を考察できるよう、スタッフ間で情報共有しながら支援計画に反映しています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	・ポイントを絞ったアセスメントツールを作成して、実施しているクラスがあります。	・新体制に向けて共通認識を持つためのツールを一本化し、次年度より利用していきます。
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	・適切な支援内容を確認するための個別支援会議等のほか、日々の打ち合わせの中でお子さんの変化などについて情報共有しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・療育記録に支援計画も綴り、計画をふまえた内容になっているかその場で振り返られるよう工夫しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・いろいろな経験を積めるよう、スタッフ間で検討してあそびの活動を準備しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・課題内容などについてプログラムの着目点を確認しながら、多角的な支援ができるように検討しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・担任にも確認しつつ、それぞれのお子さんに応じた個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画になるよう考えています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・ミーティングは毎朝行い、欠席状況や直近の健康状態などにも配慮しながら支援内容の確認をしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・その日の療育記録をまとめる際に、スタッフ間で見立てに違いがないか確認しながら記録しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の支援を児童発達支援計画をとおして振り返りながら、お子さんへのアプローチの工夫へとつなげています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的なモニタリングの中で、担任や保護者の意見も聞き取りながら児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者のほか、必要に応じてケース担当者で対応するようにしています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・保健師や関係機関の担当者と必要に応じて連絡を取り合い、連携を図っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援へつなげるように、関係機関連携をとって情報共有と相互理解に努めています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・就学に向けた移行支援として、小学校と保護者の意向に基づいた情報共有をしています。	
	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・併設されている診療所と連携を図り、ケースカンファレンスの実施や助言を受けています。	・これからも児童発達支援事業所連絡会をとおして情報交換するなど地域での連携を図り、支援の質の向上に努めていきます。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・新型コロナウイルス流行以来、積極的に交流はしていませんが、幼稚園・保育園・認定こども園との併行利用のお子さんが多い現状にあります。	・要望もあり、コロナ禍を経験しているからこそ交流できる機会を設定しましたが、機能できませんでした。タイミングや周知の仕方など工夫したいと思います。
	㉑ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・子ども部会へは代表が参加しています。子ども部会主催のオンライン研修会等へは、積極的に参加しています。	
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・親子クラスでは日常の支援において共通理解が図れるように話し合いつつ発達状況の確認をしています。 ・単独クラスでは送迎時に状況を伝え合う中で、課題について共通理解が持てるようになっています。	
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・家族支援として保護者学習会を定期的に設けています。 ・心理士が必要な家庭に向けて行うこともあり、スタッフが心理士と相談することで、継続的に支援しています。	
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・運営規定については掲示して、いつでも確認ができるようにしています。 ・利用者負担については、実際に料金表を用意して説明しています。	
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・説明の際は少しでも落ち着いた場所で行えるよう、親子クラスではあそびの活動スペースから離れた場所に行ったり、単独クラスでは1対1で話しができる場所を設定するなど配慮したうえで、必ず児童発達支援計画の同意を得ています。	
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・事業所内相談を利用したり、必要に応じて相談事業所と連携するなど、助言や支援につながるよう工夫しています。	
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者同士の連携が取れるように学習会と併せて時間を設定しています。	・勉強会や懇談会終了後に交流の時間を設定しておりますので、皆さんにご活用いただけるよう周知していきたいと思っています。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談の申し入れ等については緊急性の有無を確認しながら、早急に対応できるようスタッフ間の協力体制を整えて対応しています。	
㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・年間行事予定をお渡ししたうえで毎月のクラスだよりを発行し、保護者学習会や園外療育のお知らせなどとしています。 ・年度初めや年度終わりの懇談会をとおして、活動概要などを伝えています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・函館市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づく函館市保有個人情報等の適切な管理のための措置の関する規定に則って管理しています。	
保護者への説明責任等		③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・それぞれの特性に応じた配慮をしつつ、お子さんや保護者の何気ない表情や素振りから感じ取る気づきを大切に、話しやすい状況を作っていくよう心がけています。	・心配や困りごと、事業所へのご要望など、気軽にお話しいただけるような配慮をいたします。
		④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・新型コロナウイルス感染症の拡大が続いていたため、地域の人を招待する行事はできずにいました。	・状況が落ち着いてきておりますので、今後少しずつ再開に向け検討をすすめます。
		④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・地域における感染症発生情報に留意し、基本的な対応についてはミーティング等をとって確認しています。	・職員や保護者が、見てわかるマニュアルを検討中です。(防犯マニュアルは除く。) ・防犯訓練として、不審者対応について年間計画に取り入れて実施しております。
非常時等の対応		④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・年間計画に基づいて地震、火災、不審者対応を想定した訓練を実施しています。 ・毎月の訓練のほか、年2回の総合避難訓練を行っています。 ・当日は、利用されている保護者にも参加してもらっています。	
		④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・保護者の了承を得たうえで、健康面で必要な情報を書面で確認しています。	
		④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・給食提供はないため、個別に対応しています。 ・アレルギーの有無は年度当初に確認し、食育活動の際は改めて確認したうえで必要な配慮をしています。	※保育園における食物アレルギー対応マニュアル等を参考にしています。
		④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・事例に対してはすぐに対応策を検討しています。その時にいないスタッフがいた場合は、翌朝のミーティングの際に改めて確認しています。 ・当センター内各事業所からのヒヤリハットも情報として共有しています。	
		④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・虐待防止研修は全員が参加し、適切な対応について毎年学んでいます。	
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・拘束が必要なお子さんがいないため、児童発達支援計画に記載するような事例はありません。 ・拘束が必要とされる場合には、虐待防止マニュアルに基づいた対応をしていきます。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。